

## イベント参加報告

今年の4月に猪苗代湖北岸に開所された「猪苗代水環境センター」を使った開所記念イベント、猪苗代水環境センター環境学習会（福島県主催，NPO 法人超学際的研究機構運営）の第4回が7月30日（土）に開催され，塘が講師役として参加しました。小学生とその保護者21名（+スタッフ5名）が参加し，水生生物と水質の関係を学んだ後，猪苗代湖北岸で実際に水生生物を採集し，どんな生物が猪苗代湖北岸に生息しているのか，そこから水質はどのように評価されるのかを調べました。

梅雨明け直後のこの日，水辺での活動には絶好の天気になりました。センターから炎天下を15分ほど歩いた後，親子で生物採集を行いました。その結果，タイワンシジミ，スジエビ，カワニナ，モノアラガイ（準絶滅危惧），クロイトトンボ，サホコカゲロウ，コオナガミズスマシ（絶滅危惧II類）が見つかりました。トウヨウモンカゲロウの羽化殻もたくさん採れました。最も個体数が多かったのはタイワンシジミでした。パックテストでCODを測りましたが，値は6-7mg/Lでした。pHもかなりアルカリ側に偏っており，生物学的にも，物理化学的にも水質評価の結果は「汚い水」ということになりました。

センターに戻った後，参加者それぞれの地域の水環境を悪化させないために，あるいは改善していくために，自分たちに何ができるかを考えましょう，との話をさせて頂き，学習会は終了となりました。



猪苗代水環境センター



センターから水生生物採集場所へ移動



猪苗代湖北岸（三城瀧付近）での活動開始



砂浜付近や少し沖に出て採集する参加者



湖岸の植生付近で採集する参加者  
環境省 RDB 掲載種も採集されました



採集された生物の入ったバットを熱心に  
観察し，記録を取る子どもたち